

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の 成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第2回】 まず初めに、道場生を増やそう！（その2）

最近、チラシ配ってないなあ

先月号では、道場生を増やすためにアナログチラシの配布先について考えました。小学校、幼稚園、保育園へ直接チラシを持っていき、配布を依頼するという方法です。

配布許可を出さない学校も多いので、直接配布依頼に出向くのはかなりストレスフルな作業となり、だんだん学校から足が遠のきます。「そういえば、ここ丸3年、チラシ配布をお願いに行っていないなあ。マズいなあ」などと焦ります。にもかかわらず、重い腰を上げるわけでもなく、“仕事が忙しいから”などと自分に言い訳をします。指導者のみなさん、「結局、今年もチラシをサボってしまった」なんて、自己嫌悪した経験はないでしょうか？

新聞はオワコン

ここで皆さん、朗報です。もう学校にビクビクしながら依頼に行かなくていいんです。それは、新聞折込チラシです。力業ですが、お金で解決してしまおう、という訳です。20年ほど前、私は道場経営を始めた頃、新聞折込チラシをよく利用しました。皆さんの地域にもそのような広告会社が必ずありますので、見積もりしてもらってみてください。これなら、学校に頭を下げて回らなくて済みますね。嫌なことは、お金で解決です！

しかしながら、現在、私は新聞折込を利用しておりません。なぜなら、20年経った今、新聞を購読している年齢層がかなり高齢になってしまったからです。最近の20代、30代は新聞をとっていない人がほとんどです。おじいちゃん、おばあちゃんがチラシを読んで、孫に空手を勧めるという、レアなケースも考えられますが、確率としてはゼロに近いで

しょう。道場生募集チラシのターゲット層は30歳前後のお母さんです。いまどきの若い夫婦が、収入もギリギリの中、読みもしない新聞を契約しているとは考えられません。新聞は完全なオワコンで、20年以内に大手の新聞がいくつか廃刊になるでしょう。否、10年以内かもしれません。高齢者が主な新聞購読層ですので、新聞の余命も時間の問題です。

アナログ広告界の雄、タウン誌

最近では、無料で各家庭に配布されるポストイング型地域情報誌（タウン誌・フリーペーパー）にチラシを折り込みする、もしくはそのタウン誌の広告ページに道場広告を直接載せるという方法が現実的です。タウン誌は新聞未購読世帯に効果的にアクセスできます。ポストイングなので、隈なくピンポイントで届けることができます。私は、ずいぶん前から、新聞折込からタウン誌折込へ完全移行しております。新聞折込を最後に依頼したのは、15年くらい前です。

20代、30代のお母さん方は、おしゃれカフェ情報、スイーツ食べ放題などの最新情報がカラーで載っているタウン誌には必ず目を通しますので、そこにお母さんの目につくように、道場チラシを忍ばせておく、という訳です。地域、会社によって折込手数料はかなりばらつきがあります。ネットがとても安いですが、地域に根差した広告会社は親身にいろいろな相談に乗ってくれるので、少し割高ですが、地元会社も悪くありません。地域性などの情報も教えてくれる、よき相談役となります。ある広告会社のデータですが、1世帯あたり平均で2.2人にタウン誌が読まれており、約68%の読者が1カ月以上手元に保存していたというアンケート結果がありま

す。デジタル広告は一瞬見て、もう二度と見ることはないかもしれませんが、紙媒体のタウン誌ならば手元に置いてもらえるので、複数回、手にして見てもらえるでしょう。タウン誌はアナログ媒体ではありますが、まだまだ、デジタル媒体に負けない強みを持っています。

タウン誌折り込み方法の実際

まず広告会社から、印刷した紙の地図か、ネット上で見られる地図を手渡されます。ゼンリン住宅地図のような、ひとつひとつの家に、各世帯主の名前が書き込まれた細かい白地図です。配ってほしい地域を色塗りするとその地域だけに配布してくれます。「この地域にはライバル道場があるなあ、ケンカになるから配るのはやめておくか」、「この学校にはチラシ配布を断られたから、この校区は重点的に配ろうかな」などと、細かくエリアごとに色塗りできます。また、そのエリアごとに戸建て数があるので、チラシが何部必要か瞬時に計算できます。



あるタウン誌会社の値段ですが、チラシ1枚の折り込み手数料6円、それを各家庭に配布する配布料が6円で、1枚のチラシにつき配布料12円かかります。またチラシ自体を作成するのに1部10円かかったとしますと、1部あたり総額22円のコスト

です。これを1万部作成すると、全部で22万円となります。かなり高いですね。これは、簡単に出来る金額ではありません。

折り込みは高い！？

しかしながら、これを高いと考えるか、安いと考えるかです。ちょっと計算してみましょう。

月謝 3,000円 × 12か月 = 36,000円 (一人あたりの1年間の月謝総額)

広告代金 220,000円 ÷ 36,000円 = 6人 (広告代金22万円をペイするのに必要な入会者数)

というわけで、6人入会してくれれば、22万円はペイできてしまいます。これは6人が1年間だけ在籍して退会した前提ですので、6人に2年間在籍してもらえれば、逆に21万円ほどプラスになります。このように、22万円というお金は確かに大きなお金ではありますが、それほど恐るるに足りない金額でもあるのです。

PROFILE

■渡辺貞斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄(父)に師事。2001年父の町道場を継ぎ、2006年コーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの全国最多入賞数を少なくとも8年連続で記録する。1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。8年以上続いた連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系付けた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。



空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本田町 11-12

ひと休み Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！
人生を変えるおススメ本！(第8回)

■桑田真澄著『桑田真澄の常識を疑え！』★★★★☆

この本が発刊された2015年当時は、野球界のみならず、スポーツ界全般、旧態依然とした指導方法がまかり通っていました。この本では、昔から当然正しいと信じ込まれて誰も疑わなかった練習方法や考え方を一旦否定し、本当に正しい考え方とは何かを再構築した名著です。

前半では、「練習時間は長い方がうまくなる(筋肉が超回復できない)」、「誰か来たら練習を止めて挨拶(うわべだけの礼儀)」、「相手がミスしたらヤジって喜ぶ(味方を応援しよう)」、「ご飯は3杯食べろ(満腹だけど栄養不足)」、「熱中症?成長痛?根性無いか(やらせないことも大事)」、などの古い考え方はやめて合理的に練習すべきと訴えています。

後半では、ボールの捕り方、投げ方、打ち方など、正しいと信

じ込まれていた身体操作を真っ向から否定し、科学的に正しい動きを写真入りで提案しています。

この本に先駆けて、月井新先生は2004年頃からJKファン誌上にて、今までの常識を覆す身体操作理論を精力的に発表され続けました。両氏には共通する先見の明があると敬服いたします。

この本に書かれていることは、今やスポーツ界では常識となり出していますので、ご自分の指導が正しいか、答え合わせをしながら読んでいくのも楽しいですね。写真が多く、文章量もとても少ないので、30分位で読破できます。指導者、道場で指導の補助をしているお父さんにぜひお読みいただきたい内容です。

この本が気に入ったら、同著者の『心の野球 超効率的努力のススメ』もおススメです。